

学校教育目標	「笑顔とあいさつで 喜びの花を咲かせよう 不動丸っ子」 (知) 基礎・基本を大切に、他との豊かな関わりを通して学び合い、確かな学力を身に付けようとする子を育てます。 (徳) 自分らしさを発揮し、互いに個性を認め合い、共に生きていこうとする子を育てます。 (体) 基本的な生活習慣を身に付け、健康で安全な生活を創り出そうとする子を育てます。 (公) 「まち」のよさに気づき、地域と進んで関わろうとする子を育てます。 (開) 多くの人との関わりの中で、広い視野に立った見方・考え方を身に付けようとする子を育てます。				
	学校概要	創立 51 周年	学校長 山下 謙一郎	副校長 釘田 哲臣	2 学期制
児童生徒数: 644 人		主な関係校: 鶴ヶ峯中学校			

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	鶴ヶ峯中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
自分で判断し、進んで行動する力 自分づくりに関する力	鶴ヶ峯中学校 不動丸小学校	自分で判断し、進んで行動できる子の育成 ○つげたい力を明確にした学習指導のあり方と心を育てる人権教育 ・子どもたちにつげたい力を意識した授業を行い、授業力を高める研修を行う。 ・児童生徒の交流日等に6年生が中学校の授業見学や部活動体験に参加する。 ・職員の交流を推進し、子どもの学習面や生活面における課題を積極的に話し合う。

中期取組目標	<p>○一人ひとりが自分らしさを発揮し、自他の人権を尊重し、意欲的に活動する学校にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しいことに対する好奇心をもち、学び合う楽しさを感じながら、粘り強く学び続ける子を育みます。 ・人とのつながりを通して、自他を大切にできる子を育みます。 ・望ましい生活習慣や楽しく運動する習慣を身に付けることができる子を育みます。 ・地域の魅力を発見する機会や地域社会とのつながりについて学ぶ機会を通して、自ら考え行動する子を育みます。
--------	--

重点取組分野		具体的取組
知	授業改善	①基礎基本の定着を図るために、明確な学習課題の設定、学習の過程が分かりやすい学びを通して、「分かる」授業づくりを目指す。②学年研を充実させることで、児童の実態に合った教科・領域の単元づくりを協働的に行う。③ICT(タブレット等)の積極的な活用を通して、学力層に応じた指導の手立てを講じる。④積極的にコミュニケーションを図ろうとする姿勢を育て、対話的な学びが展開できるようにする。
担当	学力向上推進部	
徳	人権教育	①日常的に一人ひとりのよさを認めるとともに、学習や活動、行事など様々な機会を効果的に活用することで、自尊心を高められるようにする。②人権週間等(たてわり活動やペア学年での交流、幼保小や小中連携交流)で、児童の実態に合った取組を行い、互いを認め合える学校風土を醸成していくようにする。
担当	人権・児童指導部	
体	健康教育	①運動をする楽しさや心地よさを体育を通して味わわせるとともに、委員会活動が主催するスポーツ集会等でさらに体力の向上を図る。②学校保健委員会をきっかけに、自分の健康や生活習慣を見つめ直す機会を設け、健やかな成長を支援していくようにする。③栄養職員と家庭科専科が担任と連携し、日々の食育を推進していくようにする。
担当	特色ある教育活動部	
公 開	自分づくり教育	①生活科や総合的な学習の時間を核としながら、地域で体験的に学ぶ機会を設けることで、様々な関わりの中で自己有用感を育むようにする。②「自分づくりパスポート」を活用しながら、これまでの自分の学びの足跡を振り返るとともに、「なりたい自分」を実現していく態度を養う。
担当	各学年	
いじめへの対応		①「いじめ防止基本方針」に則り、教職員の意識を高めて未然防止に取り組む。②いじめアンケート、Y-Pアセスメントシートを効果的に活用し、実態把握に努める。③「いじめは許されず」ということを常に掲げ、いじめが起こりにくい学校風土や構造について子どもたち自らが考える機会を設定する(不動丸子ども会議)④情報を共有し、保護者・児童が誰にでも相談しやすい体制づくりを整える。
担当	人権・児童指導部	
人材育成・ 組織運営(働き方)		①3,4,5,6年を中心とした「教科担任制」の推進を行い、創造的・効率的な学年運営を図る。②校内OJTを進め、個々が自分の役割において質の向上と業務の改善を目指した工夫を推進する。③学年、低・中・高ブロック、級外との連携など、チーム意識をもって対応や業務に取り組む。④メンターアドバイザーを配置し、メンターチームの活性化を図る。
担当	管理職・主幹教諭	
地域学校協働活動		①鶴ヶ峯中・不動丸小合同学校運営協議会を軸として、「9年間で育てる子ども像」を共有して学校運営に取り組む。②地域の自治会等と連携し、子どもたちの地域参画体制を整えていく。③キッズクラブとの連携を強化し、情報交換を行いながら児童の健全な成長を支援していく。
担当	管理職・主幹教諭	
特別支援教育		①個別の支援計画を保護者と共有し、児童の実態に即した個別最適な学びづくりを進める。②様々な課題を抱える子どもたちの居場所を確保するためにチームで支援にあたり、ステップアップルーム、森の学習室を軸とした特別支援教育の体制の確立を進める。③学校カウンセラーやSSW、専門機関とのつながりをさらに大切に推進していく。
担当	児童指導専任・特別支援コーディネーター	
情報教育		①目的に合わせたICTの活用を目指し、子どものさらなるスキル獲得と情報選択ができるようにする。②利便性と危険性を学びながら、発達段階に合わせた情報モラル教育を進める。③学校図書館を活用し、各学年の年間学習計画に照らし合わせながら、適切な本の貸し出しや学校司書と連携した授業支援ができるようにする。
担当	情報部・図書館部	
道徳教育		①豊かな心の育成を目指して、他者とのかわり合いを通して自己を見つめ直し、よりよく生きようとする心情と態度を育てる。②2年前に道徳教育推進校として取り組んだ成果を継続して生かし、さらに指導の在り方等ブラッシュアップを進める。③授業だけでなく、日常生活そのものを道徳の学びの場と捉え、全職員で意識して取り組むようにする。
担当	道徳部	